

すこやかネット・まつばら

～教育コミュニティのエンパワメントをめざして～

松原市内7つの中学校区にある地域教育協議会では、フェスタ・クリーンキャンペーン等さまざまな取り組みを通じて、地域の子もどうし、子どもと大人、大人どうしが交流し合い、「顔と名前的一致する人間関係」を育む教育コミュニティの推進と共に、学校教育活動への支援・協力を行っています。

学校支援地域本部事業 文部科学省・大阪府補助事業

～教育コミュニティづくりの拡大・発展～



松原市マスコット
キャラクター
マッキー

学校支援地域本部事業

松原市地域教育協議会
松原市教育委員会



大阪「こころの再生」府民運動
～大阪あったかプロジェクト～

令和4年3月発行

松原中学校区地域教育協議会

防災キャンプ (河合小学校)

この防災キャンプは、河合小校区子ども会主催で自主防災並びに河合小学校区の各団体（地域教育協議会加盟）によって今年で15回目となります。子どもたちも河合小学校校区の一員として、災害発生時避難場所での取り組みかを目的として行われています。子どもたちは、受付訓練、地震発生時の身を守る行動や避難の仕方を学習した後にテント設営をしました。避難時に使用する一人用テントをなるべく大人は手伝わず子どもたちで上級生が中心となって設営していきました。その後、子どもたちは大人が炊き出し訓練で作った。レトルトカレーを笑顔で頬張りました。最後は、コロナ禍で何もできない子どもたちに地域の方々から大花火大会のプレゼント子どもたちは感動で胸がいっぱいになったと言っていました。子どもたちの感想では、災害が起こったとき、僕たちが率先して行動し役に立つようになりたいと言っていました。



地域交流まつり (松原西小学校)

12月4日(土)松原西小学校で地域交流まつりを行いました。地域の方々、PTAの方にご協力をいただき、運動場、体育館、教室を使って、様々なゲームやスポーツを行いました。ルールがわからない遊びは、地域の方が丁寧に子どもたちに説明をしてくださり時間いっぱい楽しむことができました。





松原第二中学校区地域教育協議会

袋でご飯を炊いてみよう！

校区全体の取組として二中校区地域教育協議会主催で令和3年12月11日（土）に松原市立天美北小学校運動場にて飯ごうでご飯を炊く活動を行いました。

コロナ感染症対策を実施し、校区2小学校3,4,5,6年生を対象に募集し、実施しました。今年は災害時に役に立つ知識として、ビニール袋でお米を炊いてみるという取組をしました。

当日は16人の児童が参加しました。1人1台の簡易かまどをつくり、飯ごうを使ってお湯を沸かし、袋に入ったお米をつけて炊きます。火も木を使っておこし、児童自らが調理をします。やけどなどけがはありませんでしたが、時間がかかるなどうまくいかなかった場面もありました。

この取組は児童たちがこうした体験をすることも大切にしています。当日は二中校区地域教育協議会、教員も参加し一緒に行事を成功させました。

このような地域とともに協働する体験が災害時などに役立つことになり、児童たちの生きる力につながっていく取組でした。



松原第三中学校区地域教育協議会

つながりを深める

【校区連携】

今年度は、さらに安心・安全な校区をめざして、校区連携を活発に行いました。三中からは、コロナによる偏見や差別がない地域にするために、「シトラスリボン」のとりくみを発信し、布忍小・中央小や病院、市役所に作成したパネルを贈呈しました。また、オンラインなどでISS子ども会議を定期的に行い、校区スローガンに基づいた「あいさつ運動」「カテ学ウィーク」「はなマルちゃんウィーク」など今できる中でとりくむことができました。小小中交流会では、三中生徒会を中心に、各小学校の6年生と遊びを通して交流し、みんな笑顔で楽しめました。

【ISS再認証】

今年度、三中校区は「ISS再認証」を受けることができました。再認証では、オンラインで審査員の方と海外とつないで生徒会や児童会を中心に緊張しながらしっかりと発表しました。認証式では地域の方々にも参加して頂き、日々とりくんでいる成果や今後も安心・安全な学校、校区、地域をみんなの手でつくっていくことを確認できました。



松原第四中学校区地域教育協議会

いきいき健康ウォーキング

12月11日（土）この時期には珍しいほどの晴天に恵まれた温かい日差しの下、「四中校区いきいき健康ウォーキング」を開催しました。コロナ禍の取り組みで、開催できるのか、どれほどの参加者があるのかと心配しましたが、当日は申込者・スタッフを合わせ100名を越える参加となりました。

幼児・小学生・中学生とその保護者、近隣のお年寄りなど幅広い年齢層の参加があり、四中校区地域協の掲げる目標である「3世代交流」を達成することができました。約5 Kmの行程で、コースの途中には歯に由来のある神様をまつる「柴籬神社」や松原市の郷土資料館「ふるさとぴあプラザ」などがあり、見学を通して松原市の歴史や文化に触れ、学ぶこともできました。

小さなお子さんも保護者に手を引かれ、お年寄りに褒められ励まされて最後まで元気に歩いていました。「地域の子どもは地域の大人で育てる」そんな温かい思いがあちこちで感じられる取り組みとなりました。コロナ禍で我慢の続く日常ですが、ほんの少しの開放感で大きな笑顔を見せてくれる子ども達に感謝の一日でした。



松原第五中学校区地域教育協議会

陶芸教室

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動に制限がかかる中、地域教育協議会としても、少しでも地域・学校が協力して出来る活動を模索してきました。

今年度は感染対策をしっかりと行った上で校区小学校で陶芸教室を実施することができました。

地域の人たちと子ども達が協力して今年の干支の虎をモチーフにした作品を思い思いに作り上げることができました。





松原第六中学校区地域教育協議会

クリーンキャンペーン

六中校区では、地域の各種団体の方にご協力いただき、各校においてクリーンキャンペーン、グラウンド整備をおこなっています。

本年度は、コロナ禍ということもあり、校区の各種行事も中止となっており、本取り組みも規模を検討しながらどうにか実施することができました。地域の方々も子どもたちと接することについては様々ご配慮をいただき、感染症予防対策をおこない作業を進めました。

地域の方々と子どもたちとのふれあいがたくさん見られ、こんな時だからこそ地域の方々の見守りが一層心強く感じられました。短い時間でしたが素敵なひとときとなりました。



松原第七中学校区地域教育協議会

キックベースボール大会

例年であれば、11月13日（土）に国際文化フェスタを開催していましたが、残念ながら今年度も中止となりました。その代替行事として、5月29日（土）から延期されていたキックベースボール大会を開催しました。

快晴の中、校区の2つの小学校の児童や地域の未就学児も参加し、交流を深めました。子どもたちが楽しく過ごせるよう、運営ボランティアとして中学生が打順や移動の声かけをしたりしました。子どもたちは、小学校のグラウンドよりもはるかに広い中学校のグラウンドで、のびのびとキックベースボールを楽しんでいました。

地域みなさんには、コート設営や審判、開会式、閉会式の補助などのご協力をいただき、スムーズに運営することができました。また、今回は特別に、地域の会社から参加賞のご協力をいただきました。参加賞はとてまあっかいプラモデルで、子どもたちは、家に帰ってすぐに組み立てて楽しんでいました。屋外で思う存分遊び、屋内でプラモデル製作にいそしむ、すてきな一日になりました。

